

はいりよ たす こんな配慮があると助かります

きさらづしやくしよ
木更津市役所
しょうじやくしよ
障がい福祉課

しかくしょう 視覚障がい

しかくしょう めみ
視覚障がいとは、目が見えない、またはメガネをして
み じょうたい み かた こじんさ
も見えにくい状態のことで、見え方には個人差があ
ひかり かん み はんい せま とくてい
り、光をまぶしく感じたり、見える範囲が狭い、特定の
いろ わ ひと
色が分かりにくいなどの人がいます。



はいりよ たす こんな配慮があると助かります

- ◆ 周りの状況が分からないので、困っていきそうな人がいたら、こちらから声をかける。
- ◆ 「あれ」、「そこ」などの指示語を使わない。「2歩前」や「3メートル先」と伝える。
- ◆ 歩道の点字ブロックの上に物を置かない。

ちょうかく げんごしょう 聴覚・言語障がい

ちょうかくしょう みみ き
聴覚障がいとは、耳が聞こえない、または聞こえにく
じょうたい げんごしょう しつごしょう いんとう てき
い状態のことで、言語障がいとは、失語症や咽頭の摘
しゅつ こえ で だ じょうたい
出によって、声が出ない、または出しにくい状態のことで
す。



ほちようき
補聴器

はいりよ たす こんな配慮があると助かります

- ◆ 目で見えるような方法(手話・メモ)でコミュニケーションをとる。
- ◆ 話す時は口の動きがよく見えるようにする。
- ◆ 病院の呼び出しや災害時などは、音や声だけでなく、文字や光、または手を挙げるなど合図して知らせる。



したいふじゆう 肢体不自由

したいふじゆう しして あし たいかん きのう びようき
肢体不自由とは、四肢(手や足)や体幹の機能が病気
やけがにより損なわれ、立つ・座る・歩くことや、食事・
にゅうよく さまざま にちじょうせいかつ どうさ こんなん かか
入浴など、様々な日常生活の動作に困難を抱えた
じょうたい
状態をいいます。



はいりよ たす こんな配慮があると助かります

- ◆ 段差があつて困っていきそうだったら、声をかける。
- ◆ ドアの前や狭い通路に物を置かない。
- ◆ 電車やバス、駐車場の優先スペースの利用を控える。
- ◆ 会話が難しくても、介助者だけではなく、できるだけ本人から聞く。



ないぶしょう 内部障がい

ないぶしょう からだ ないぶ ないぞう きのう しょう
内部障がいとは、体の内部(内臓など)の機能に障がい
がある状態をいいます。具体的には、心臓、じん臓、呼吸器、
じょうたい ぐたいてき しんぞう ぞう こきゅうき
ぼうこう・直腸、小腸、H I V による免疫、肝臓の7
ちよくちよう しょうちよう えいちあいびい めんえき かんぞう
種類です。



はいりよ たす こんな配慮があると助かります

- ◆ 荷物の持ち運びを手伝う。
- ◆ 喫煙所以外でタバコを吸わない。
- ◆ 優先席付近では携帯電話の電源を切る。
- ◆ 多目的トイレの利用を控える。人工膀胱等を使用している人には、多目的トイレを案内する。
- ◆ 食生活に制限がある人には、飲食の強要はしない。
- ◆ H I V に関する、正しい知識や理解を得て、差別をしたり、偏見を持たないようにする。

はいりよ たす こんな配慮があると助かります

ち て き しょう 知的障がい

知的障がいとは、知的機能の障がいが発達期(おおむね18歳まで)にあらわれ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別な援助を必要とする状態をいいます。



はいりよ たす こんな配慮があると助かります

- ◆ 会話はゆっくりと分かりやすい言葉を選び、文字には「ふりがな」を付ける。
- ◆ 写真や絵を使うと理解がしやすくなる。
- ◆ 指示する人を決めると安心するので担当者を決める。
- ◆ 初めてのことは見本を見せて、細かく教え、理解できたか、よく確認する。

は っ た つ し ょ う 発達障がい

発達障がいとは、脳の機能に関する生まれつきの障がいです。自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい(LD)、注意欠陥多動性障がい(ADHD)などがあります。



はいりよ たす こんな配慮があると助かります

- ◆ 言葉だけで伝えるのではなく、メモを渡したり、情報を「視える化」する。
- ◆ ノートの文字を読んだり、書くことが苦手な場合、タブレットを活用する。
- ◆ 予定等急な変更がある場合は、なるべく早く伝えるようにする。
- ◆ 過集中になりやすいため、周囲が適度に休憩をとるように声をかける。

せい し ん し ょ う 精神障がい

精神障がいとは、うつ病や統合失調症、認知症、依存症、高次脳機能障がい、てんかんなどにより、日常生活や社会生活で様々な生活のしにくさを抱えた状態をいいます。



はいりよ たす こんな配慮があると助かります

- ◆ 日常的な「当たり前」のことで、努力が必要な場合があることを理解する。
- ◆ なぜ病気になったのか追求めすぎない(本人のせいではないが、自分を責めている場合がある。)
- ◆ 安易に薬をやめた方がいいと言わない。
- ◆ 不安を感じさせないように穏やかに話す。
- ◆ 障がいをよく理解せずに偏見を持たない。

なんびょう 難病

難病とは、発病の原因や病気の容態が明らかではなく、治療方法が確立されていない珍しい病気で、長期にわたる療養が必要になるものをいいます。特に患者数が少なく、診断基準があるものを「指定難病」といい、300を超える疾患が国に指定されています。

はいりよ たす こんな配慮があると助かります

- ◆ 症状に応じて、仕事や活動の量を調整する。
- ◆ 通院のため、学校や仕事を休む場合があることを理解する。



● 合理的配慮の具体例はこちら

<http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jire>

